

第6号

2017.4.1-  
2017.9.30まじめに面白いを**創**る会社。未来の楽しいを**造**る会社。

# extreme times

株式会社エクストリーム | 2018年3月期 中間株主通信

## ごあいさつ

### スマートフォンにおけるゲーム市場の拡大を背景に エンターテインメント系企業に向けた 人材ソリューションサービスが順調に推移しました

株主の皆様におかれましては、平素より当社事業へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第13期第2四半期(2017年4月1日から2017年9月30日まで)の決算概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が見受けられるものの、個人消費の回復は足踏み状況にあり、先行き不透明な状況となっております。

このような環境下、当社グループを取り巻くソフトウェア業界におきましては、スマートフォンの普及が安定的に推移し、引き続き拡大傾向が続いております。また、スマートフォンにおけるゲーム市場は、2017年度には9,600億円(出所:株式会社矢野経済研究所「スマホゲームの市場動向と将来性分析 2017」)に達すると予想されており、今後も同環境は大きく成長していくことが予想されます。

このような状況下、当社グループはゲームなどのエンターテインメント系企業および金融・商業・サービス業などの企業へ向けた人材ソリューション・受託開発を行うソリューション事業

代表取締役社長 CEO  
**佐藤昌平**



および、ゲームコンテンツの企画・開発・運営およびライセンスビジネスを行うコンテンツプロパティ事業を引き続き積極的に展開し、取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,629百万円、営業利益は150百万円、経常利益は150百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は90百万円となりました。

今後とも、株主の皆様のご期待にお応えできるよう精励いたしますので、引き続きご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 決算ハイライト

### 事業別状況

#### ソリューション事業

売上高 **1,610百万円**(前年同期比2.2%増)  
セグメント利益 **379百万円**(前年同期比16.6%減)

#### コンテンツプロパティ事業

売上高 **19百万円**(前年同期比58.9%減)  
セグメント損失 **0.1百万円**(前年同期比98.6%減)

	2017年3月期 第2四半期 (累計) (百万円)	2018年3月期 第2四半期 (累計)	前年同期比 増減率	2018年3月期 週期(計画)	前期比 増減率
売上高	1,622	1,629	0.5%	3,829	16.4%
営業利益	232	150	△35.2%	292	△32.9%
経常利益	224	150	△32.9%	292	△32.4%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	141	90	△35.8%	177	△36.3%
1株当たり四半期(当期)純利益	57.52	35.86	—	70.33	—

2018年3月期年間配当金 **15円** 予定

# PRODUCTION STORY

## 実績紹介

## 顧客を支えるエクストリームの力

### KLab株式会社様

高い技術とコミュニケーション能力を生かして顧客の要望に応える。  
豊富な現場経験を生かし  
即戦力を求める幅広い職種で活躍。



株式会社エクストリーム  
代表取締役社長 CEO  
佐藤 昌平

KLab株式会社  
執行役員 人事部 部長  
天羽 公平 様

**Q** 主力事業のスマホゲームに対する考え方を教えてください

**A** マーケットの変化に対応する基礎技術や先端技術の研究を進めています

2000年の創立以来、「モバイル×インターネット」を事業ドメインとしてきました。現在は、モバイルの主流であるスマートフォン向けのインターネットサービスの中でも最も競争が激しく、成長しているゲーム事業を主力事業としています。私たちは常に変化・進化するマーケットの中で、いかに先回りできるか、迅速に順応できるかを考え、土台となる基礎技術や関連する先端技術の研究・検証を行い、市場の分析とともにノウハウ蓄積を進めています。

**Q** 変化の激しい業界ですが、どのような人材を求めていますか？

**A** 迅速な人員強化のためスキルを持った即戦力を求めています

この業界は変化が激しいだけでなく、サービスや事業の急成長に伴い迅速な人員体制の強化が必要になることもあります。その時、高いスキルを持った即戦力が必要となります。エクストリームの社員の方々は高いスキルを有しているため、プランナーからエンジニア、デザイナーまで幅広い職種でパートナーとして活躍いただいています。

**Q** エクストリームの社員の評価を教えてください

**A** コミュニケーションスキルも高く安心して業務を任せられます

クリエイターの方々は、様々な開発現場での経験を持っていることに加えて、日々スキルアップの努力も怠らない姿勢がうかがえるため、安心して業務をお任せしています。開発はチームワークが重要なポイントになるのですが、コミュニケーションスキルが高く、こちらの意を汲んだ対応をしてもらえます。「チームの一員」として取り組まれている点も大変心強いですね。

**Q** 具体的にはどのように業務を進めているのでしょうか？

**A** 個人の裁量で進めつつ、コミュニケーションを大切にしています

エンジニアやクリエイターに任せているミッションに関しては、基本的には個人の裁量に任せて進めています。各フェーズでレビューのステップを入れて、「お客様に楽しんでいただける基準をクリアしているか」という点を確認し、品質を保っています。またレビューなどによるコミュニケーションには丸投げになることを避ける意味もあり、その点でもパートナーの方々に安心して力を発揮していただいていると思います。



### KLab株式会社様について

2000年、ケイ・ラボラトリー設立。04年KLab株式会社に社名変更。11年東証マザーズ市場に上場し、12年に東証1部へ市場変更。中国拠点も含め国際分業体制を確立し、ワールドワイドにスマホアプリやモバイルオンラインゲームを展開。「キャプテン翼 ～たたかえドリームチーム～」などの人気コンテンツを保有し、KLabグループとして世界最大規模のモバイルオンラインゲームベンダーを目指す。スマートフォン関連のアプリケーション、サービスおよびサーバーインフラの企画、開発、提供も行う。

# BRANDING ACTIVITY

## ブランディング活動

# デジタルクリエイター プロダクション宣言

「デジタルクリエイター プロダクション宣言」を通じ、企業ブランドの構築、浸透を実現します。

年間売上高100億円超・市場変更といった中期目標の達成のためには、非エンタメ系等の新領域へのビジネス展開、優秀な人材の確保・育成は不可欠です。こうした重点取り組み課題に対してより効果的なアプローチを実現すべく、当期から戦略的な企業PR活動を開始しています。

### 企業PRの取り組みに関する中期的ロードマップ (予定)

	2017年			2018年				2019年				2020年
	10月	11月	12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
フェーズ	Phase-I			Phase-II				Phase-III				
	2017年10月~2018年3月			2018年4月~				2019年4月~				
目的	宣言期 (show the flag)			認知および 事業理解浸透期				認知拡散期				
	新生! エクストリームを宣言			業界内でのポジション確立				誰もが知る日本を代表する クリエイティブプロダクションへ				
コミュニケーション コンセプト	デジタルクリエイター プロダクション宣言											
	第2弾											

当社の事業内容や市場におけるポジションをより多くの潜在的クライアントやデジタルクリエイターへ浸透させることを目的として、企業PR活動へ中期的に取り組む計画です。

そのスタートである当期は『宣言期』と位置付け、改めて当社のビジネスモデルや「クリエイター・エンジニアが主役の会社」という企業コンセプトを明確に打ち出していきます。具体的な取り組みとして、当社の企業コンセプトを明文化した「デジタルクリエイター プロダクション宣言」を核に、エクストリームの企

業認知度および企業ブランドの向上を目的とするコンテンツを掲載した『Special Site』を公開。

また、同サイト内およびYou Tubeでは、当社のビジネスモデルを紹介するウェブ限定ムービー『ネコストリーム』が公開されています。『ネコストリーム』は、ミュージックビデオやCM、テレビ番組等で活躍する2名の映像ディレクターが同じ映像素材を使用してそれぞれ制作、クリエイティブな表現で当社のビジネスモデルを紹介する内容となっています。

## Special Site

<http://ex-branding.e-xtreme.co.jp>



## ネコストリーム

[http://ex-branding.e-xtreme.co.jp/index.html#cat\\_fixed](http://ex-branding.e-xtreme.co.jp/index.html#cat_fixed)



MISSION編

ゆるかわ編



# 会社概要 / 株式情報 (2017年9月30日現在)

## 会社概要

社名	株式会社エクストリーム EXTREME CO.,LTD.	
設立	2005年5月6日	
本社所在地	〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-11-1 メトロポリタンプラザビル21階	
名古屋オフィス所在地	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-1-30 錦マルエムビル2階	
資本金	308,111,800円	
従業員数	346名 ※契約社員・アルバイト含む	
役員	代表取締役社長 CEO	佐藤 昌平
	常務取締役	長岡 裕二
	取締役 管理本部長	由佐 秀一郎
	取締役 ソリューション事業本部長	奥富 洋幸
	取締役 (社外)	山口 十思雄
	常勤監査役	佐藤 泉
	監査役 (社外)	川口 弥代
	監査役 (社外)	楠元 克成

## 株式情報

株式状況	発行可能株式総数	7,144,000株
	発行済株式総数	2,529,000株
	株主数	1,812名

## 大株主

株主名	持株数	持株比率
佐藤昌平	1,249,400株	49.40%
長岡裕二	92,000株	3.63%
小野寺康成	73,900株	2.92%
由佐秀一郎	68,400株	2.70%
大和証券株式会社	29,100株	1.15%
中村壯陽	28,000株	1.10%
株式会社SBI証券	22,200株	0.87%
松井証券株式会社	22,100株	0.87%
渡辺毅	16,000株	0.63%
投資事業組合オリックス10号	13,200株	0.52%

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

上場市場	東京証券取引所マザーズ
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度の末日翌日から3ヶ月以内
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日及び毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 (NMF竹橋ビル6F)

事務取扱場所	東京証券代行株式会社 本店 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 (NMF竹橋ビル6F)
郵便物送付先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	0120-49-7009 (フリーダイヤル)
公告掲載方法	電子公告 公告掲載URL: <a href="http://www.e-extreme.co.jp/ir/notice.html">http://www.e-extreme.co.jp/ir/notice.html</a> (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)



[www.e-extreme.co.jp](http://www.e-extreme.co.jp)

エクストリームの  
最新情報はこちら

## エクストリームの 企業サイト

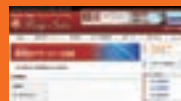
当社ホームページでは、ニュースリリースによる最新情報のほか、事業内容や投資家情報を発信しております。

## エクストリームの総合情報



### 社長ブログ

<http://ex-blog.e-extreme.co.jp/>  
社長のつぶやきをチェック



### 適時開示アラートメールサービス

[www.e-extreme.co.jp/ir](http://www.e-extreme.co.jp/ir)  
最新情報を自動で配信



### YouTube

<http://www.youtube.com/extreme050506>  
動画でエクストリームの今を理解



この冊子は環境保全のため、  
植物油インキとFSC®認証紙  
を使用しています。



ユニバーサルデザイン (UD) の  
考えに基づいた見やすいデザイン  
の文字を採用しています。